

2022年度
決算説明資料

神 鋼 商 事 株式
会 社

証券コード：8075

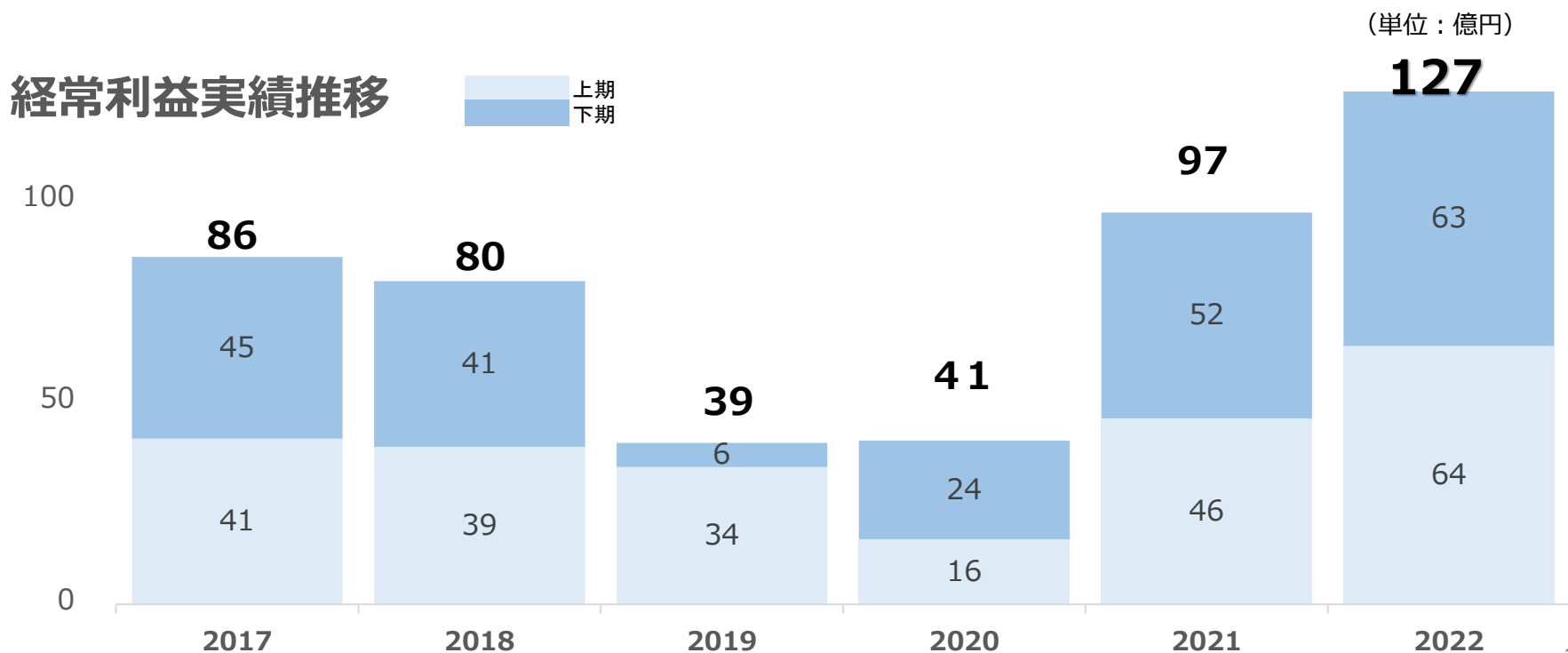
本資料のサマリー

● 2022年度業績概要

- ・ 2022年度の経常利益は127億円となり、昨年度に引き続き、過去最高益を更新
→主原料価格や鋼材価格等の市況価格の上昇により、前年度から大幅増益
→年間の配当金は315円へ上方修正。目標配当性向30%を達成（前回公表：300円）

● 2023年度業績予想

- ・ 2023年度通期の経常利益は、鋼材取扱数量の減少および販売管理費の増加等により、経常利益は100億円を見込む



1. 2022年度業績概要
2. 2023年度業績予想
3. 中期経営計画進捗報告
4. Topics
5. 参考資料

1. 2022年度業績概要

2. 2023年度業績予想

3. 中期経営計画進捗報告

4. Topics

5. 参考資料

2022年度 連結損益計算書

- 経常利益は127億円、前年同期比+29億円の増益（約1.3倍へ）
主原料価格や鋼材価格等の市況価格の上昇により、各セグメントの売上総利益が増加
- 当期純利益は92億円、前年同期比+21億円の増益（約1.3倍へ）

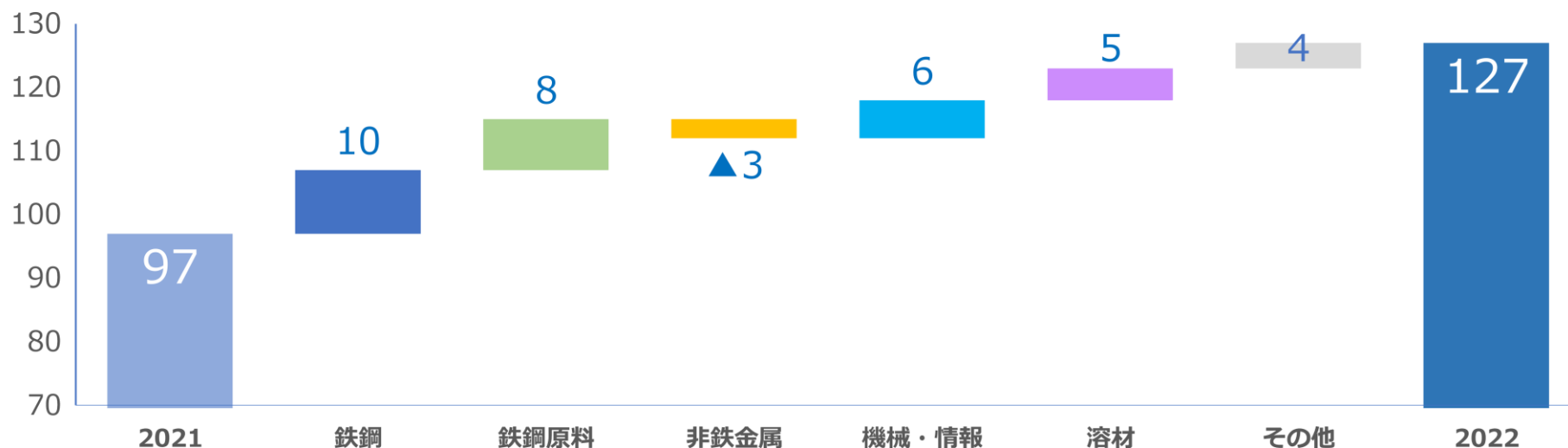
(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減額	増減率(%)	【参考】 業績予想値 ('22 11/2)
売上高	4,944	5,849	+ 905	18.3%	5,770
売上総利益	335	385	+ 50	14.9%	-
販売管理費	▲235	▲251	▲16	-	-
営業利益	101	135	+ 34	33.9%	119
経常利益	97	127	+ 29	30.2%	120
当期純利益	71	92	+ 21	28.9%	88
配当金(円)	245	315	+ 70	-	300

2022年度 セグメント別経常利益増減

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	41	51	+10	24.4%
鉄 鋼 原 料	7	15	+8	108.5%
非 鉄 金 属	30	27	▲3	▲11.8%
機 械 ・ 情 報	16	22	+6	37.1%
溶 材	3	8	+5	148.0%
そ の 他	▲1	4	+4	—
合 計	97	127	+29	30.2%

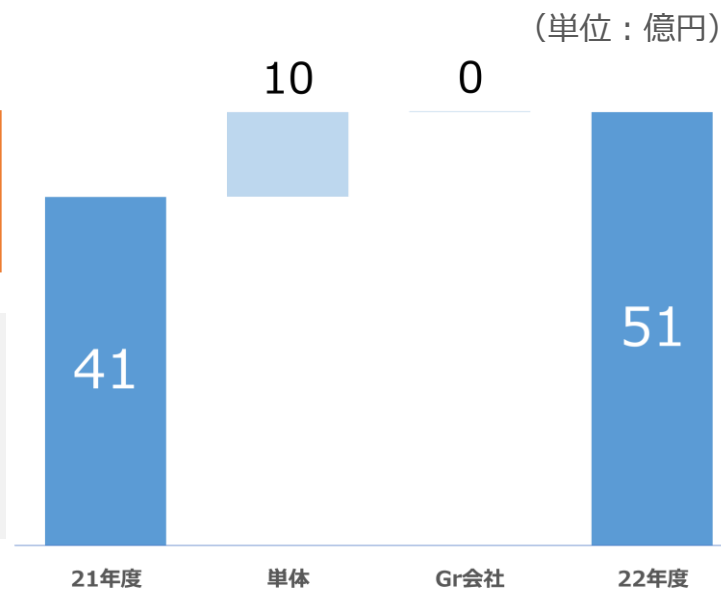


2022年度 セグメント別経常利益増減（詳細）

鉄 鋼

年度	2021年度	2022年度	増減
経常利益	41	51	+10

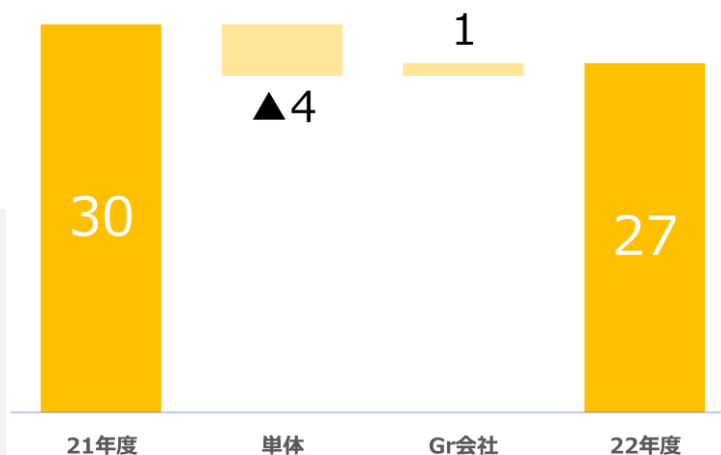
- 単体は、自動車減産影響等により取扱数量は減少したものの鋼材価格の上昇により増益
- また、持分法適用会社等、出資先の業績が好調に推移し、増益に寄与



非鉄金属

年度	2021年度	2022年度	増減
経常利益	30	27	▲3

- 単体は、伸銅品の取扱量減少等の影響により減益
- Gr会社は、主に中国子会社の自動車向けアルミ板材の取扱いが堅調に推移していること等により増益

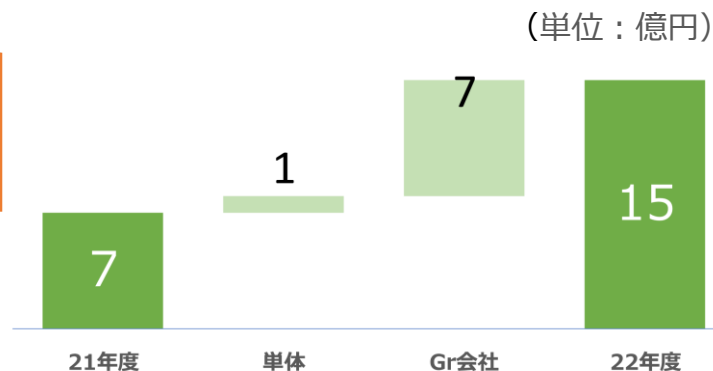


2022年度 セグメント別経常利益増減（詳細）

鉄鋼原料

年度	2021年度	2022年度	増減
経常利益	7	15	+8

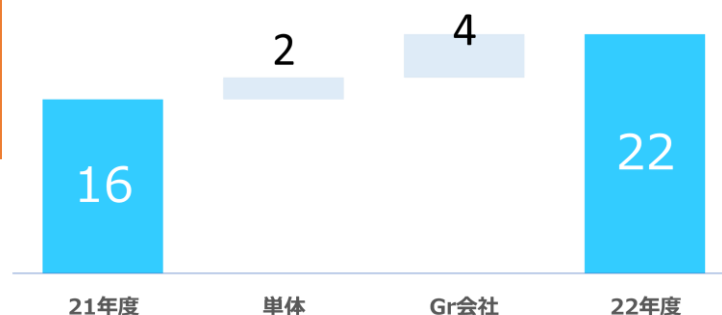
- 取扱数量の増加、及び主原料価格の上昇により増益



機械・情報

年度	2021年度	2022年度	増減
経常利益	16	22	+6

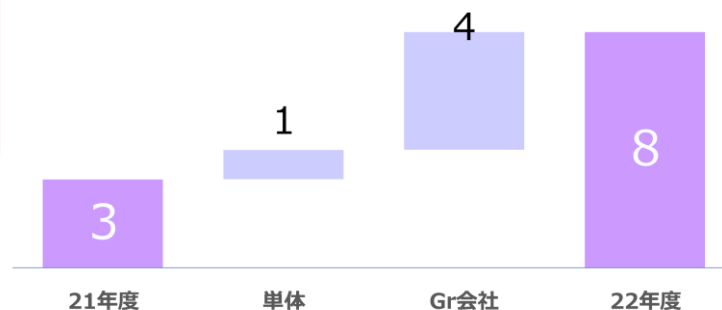
- 国内での回転機サービスビジネス増加及び国内外での建機部品の取扱い増加、更に国内子会社の好業績により増益



溶材

年度	2021年度	2022年度	増減
経常利益	3	8	+5

- 国内外での溶接材料価格上昇や、国内子会社が事業譲受した溶材関連資機材販売事業が堅調に推移していること等により増益



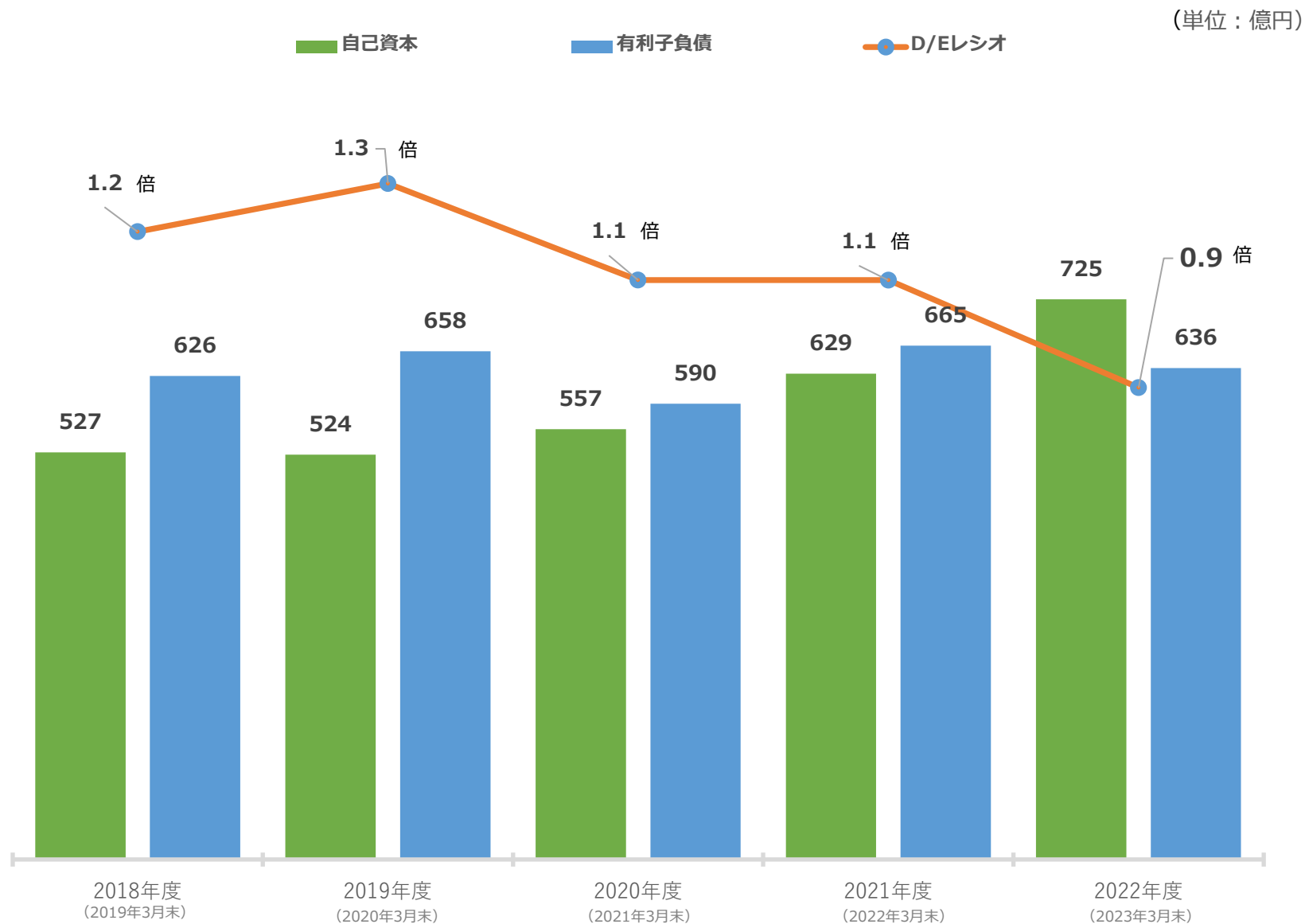
バランスシートの状況

(単位：億円)

	2021年度 (2022.3末)	2022年度 (2023.3末)	増減額
流動資産	3,166	3,435	+269
固定資産	474	516	+42
〔有形・無形固定資産	〔 94	〔 101	〔 +7
〔投資その他の資産	〔 380	〔 415	〔 +35
資産合計	3,640	3,951	+311
流動負債	2,793	2,979	+186
固定負債	210	233	+24
負債合計	3,003	3,212	+209
自己資本	629	725	+95
非支配株主持分	8	14	+6
純資産	638	739	+101
外部有利子負債	665	636	▲29
自己資本比率	17.3%	18.3%	+1.0%
D / E レシオ	1.1倍	0.9倍	▲0.2倍
1株当たり純資産	7,107.8円	8,235.1円	

バランスシートの状況（自己資本・外部有利子負債 推移）

● D/Eレシオ： 0.9倍（参考：ネットD/Eレシオ 0.7倍）



キャッシュ・フローの状況

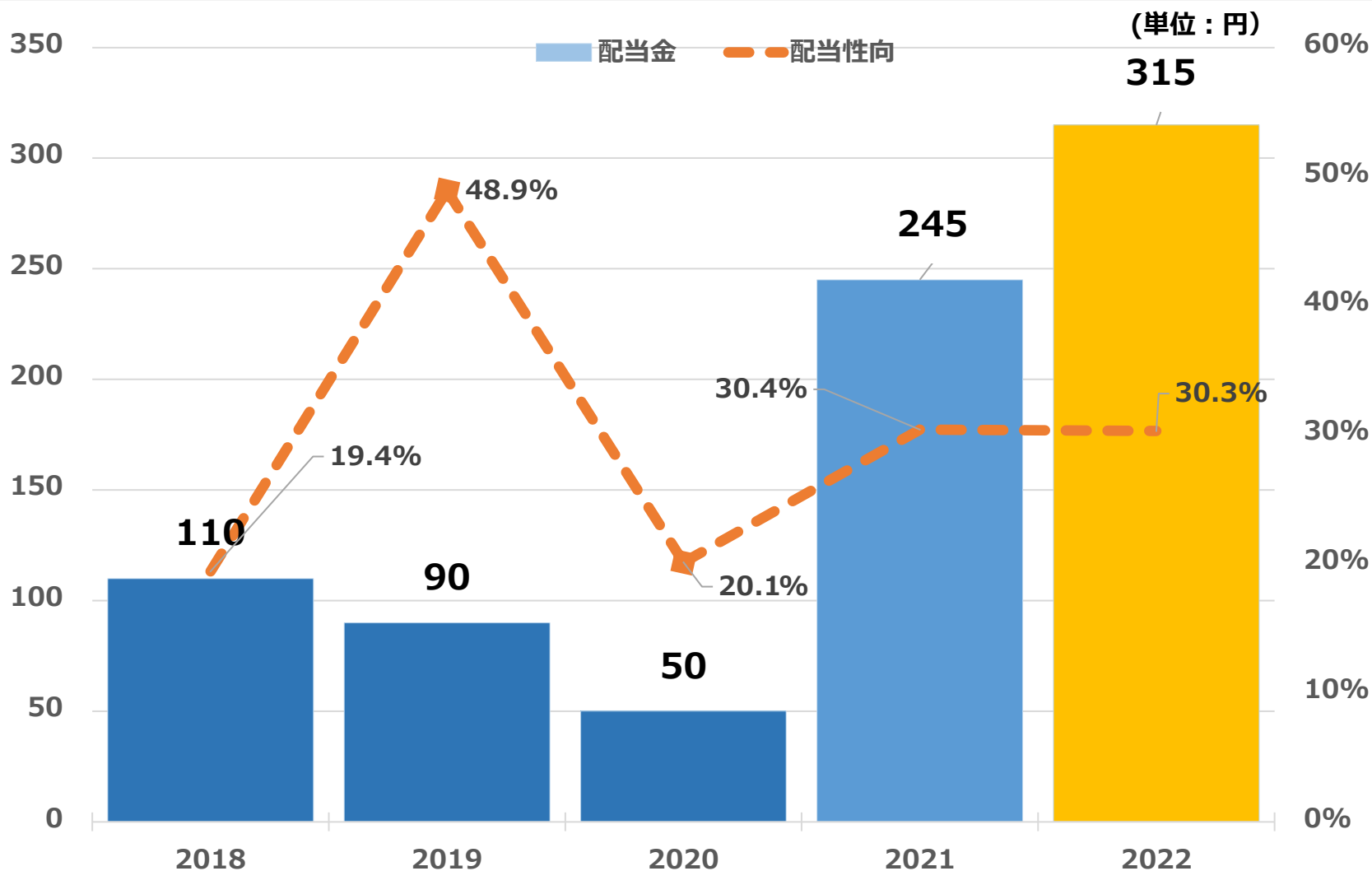
(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減額
営業活動によるCF	▲93	+77	+169
投資活動によるCF	▲8	▲15	▲7
フリーキャッシュ・フロー	▲101	+61	+162
財務活動によるCF (現金に係る換算差額を含む)	+46	▲87	▲133
総合キャッシュ・フロー	▲55	▲26	+30
現金及び現金同等物の期末残高	154	128	-

※営業活動によるCFには債権流動化の増減額を含みます

配当推移

- 中期経営計画にて目標配当性向を30%と設定
- 当社配当方針に則り、年間配当見通しを315円とする（中間150円、期末165円）
※前回公表値（300円）から15円の上方修正



1. 2022年度業績概要
- 2. 2023年度業績予想**
3. 中期経営計画進捗報告
4. Topics
5. 参考資料

2023年度 外部環境想定、前提条件

【外部環境想定】

①日系自動車メーカー（海外含む）生産台数想定

- ✓ 2022年度は、北中米・中国で大幅な落ち込み。
- ✓ 2023年度も急激な回復は見込めず、2022年度実績比で微増となる見込み。

	2021年度実績	2022年度実績	2023年度見通し
対前年比増減率	+1%	▲2%	+3%

②半導体市場予測

- ✓ 前年に続き、特にアジア地域で半導体需要の低迷が続く見込みで、世界全体での2023年の半導体市場は、前年比▲4%と2019年以来4年ぶりのマイナス成長を予測。

【前提条件】

為替レート

- ✓ 1USD=130円を想定。

2023年度 業績予想

- 鋼材価格等の市況価格は、22年度下期並みの水準が続くと予想。
- 神鋼厚板ミルの改修等により、鋼材取扱数量は減少見込み。
- 半導体市場の需要低迷が見込まれること等から、減益見込み。
- 販売管理費は、コロナ禍からの回復による営業活動の活発化等により増加。

(単位：億円)

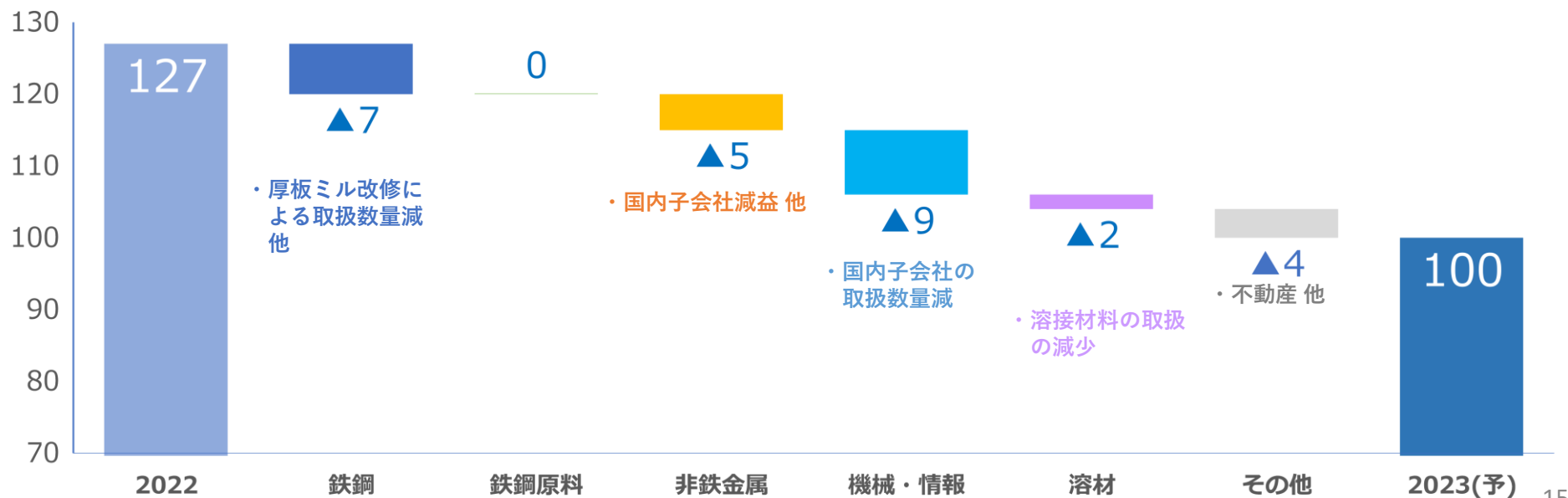
	2022年度	2023年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
売上高	5,849	6,520	+671	11.5%
営業利益	135	108	▲27	▲19.8%
経常利益	127	100	▲27	▲21.1%
当期純利益	92	71	▲21	▲22.8%

1株当たり 当期純利益	1042.7円	806.0円	▲236.7円	▲22.8%
配当金(円)	315円	245円	▲70円	—

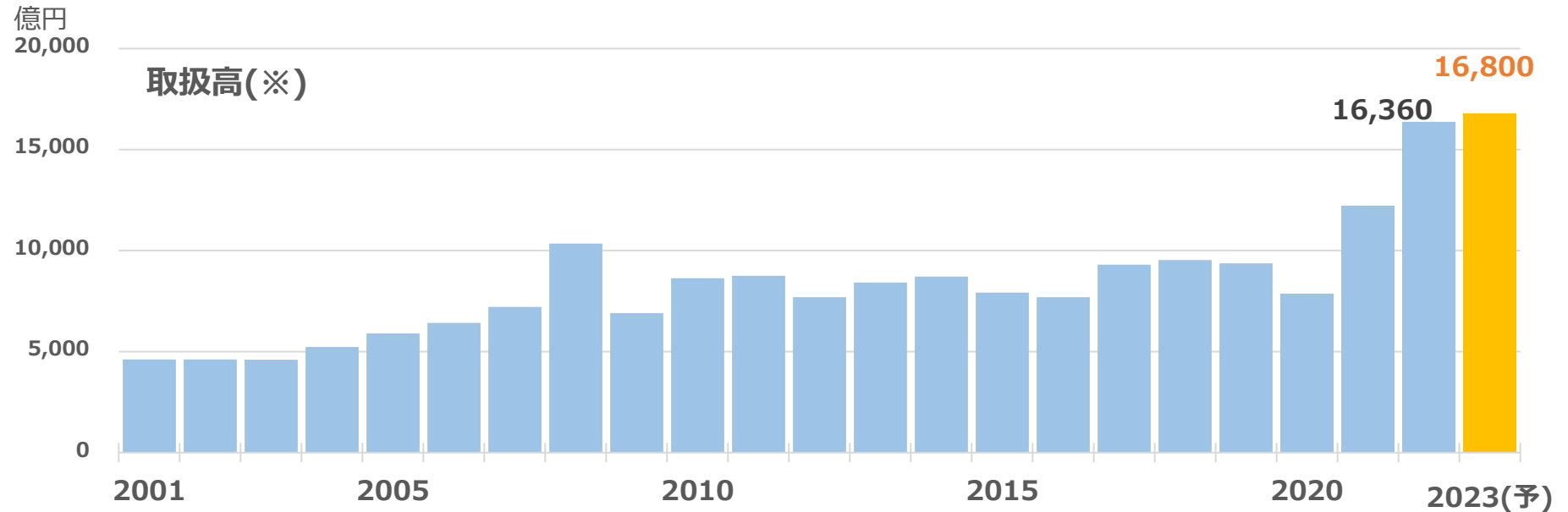
2023年度 業績予想 セグメント別経常利益増減

(単位：億円)

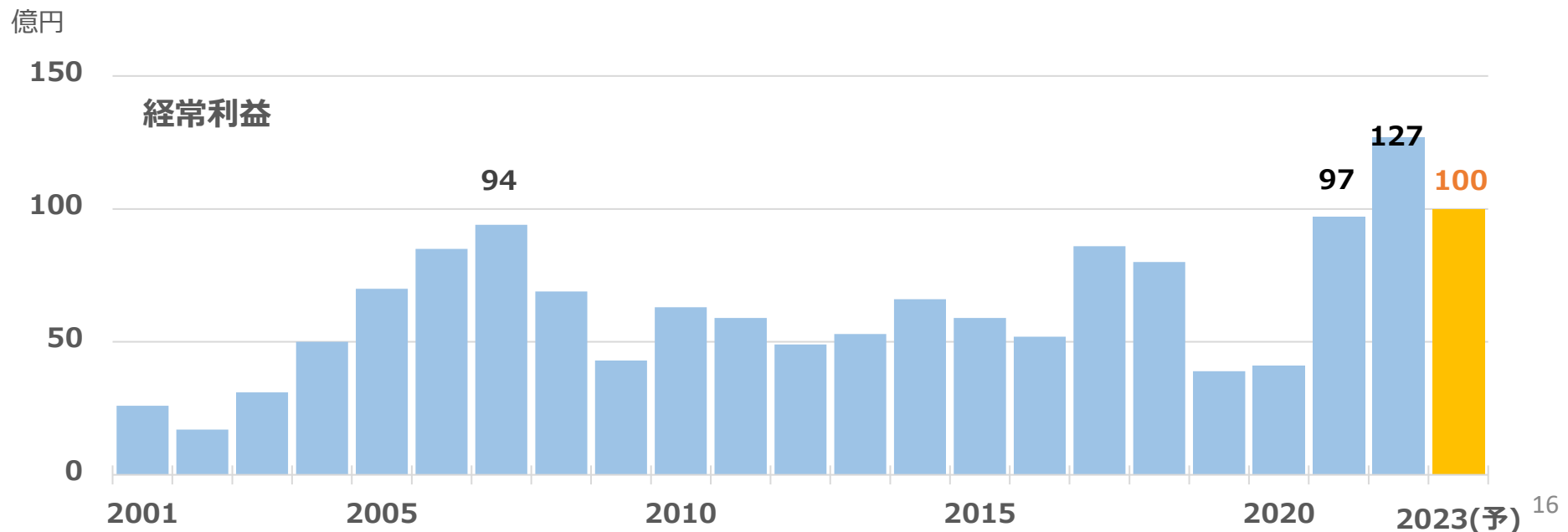
	2022年度	2023年度 予想	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	51	44	▲7	▲14.4%
鉄 鋼 原 料	15	15	0	+0.1%
非 鉄 金 属	27	22	▲5	▲17.8%
機 械 ・ 情 報	22	13	▲9	▲40.1%
溶 材	8	6	▲2	▲25.4%
そ の 他	4	0	▲4	—
合 計	127	100	▲27	▲21.1%



取扱高・経常利益の推移



(※) 取扱高・・・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しなかった場合の売上高



1. 2022年度業績概要
2. 2023年度業績予想
- 3. 中期経営計画の進捗報告**
4. Topics
5. 参考資料

全体戦略

- ・ 関係会社の機能最適化と戦略的活用
- ・ 事業ポートフォリオの見直し

収益力の強化

- ・ 神戸製鋼グループ中核商社としてグループビジネスの深化を追求する
- ・ SDGsを意識した、環境リサイクルビジネスの拡大
- ・ 海外拠点主導のビジネス開拓
- ・ 新事業開発の強化
- ・ DX時代に適したビジネスモデルの創出・提案

投資の促進

- ・ 北米、アジアでのサプライチェーンの深化と創造（M&A推進）
- ・ 事業投融資の加速
- ・ 製造拠点の設備投資

商社機能の強化

経営基盤の強化

- ・ 人事制度改革
- ・ コーポレート機能の改革
- ・ 財務体質の強化
- ・ DX推進

中期経営計画 KPIの進捗

	中計目標値	21年度実績	22年度実績	22年度達成度	23年度予想
経常利益	23年度 95億円以上	97億円	127億円	達成	100億円
ROE	9%以上	12.0 %	13.6%	達成	9.5%
ROA	3%以上	3.0 %	3.3%	達成	2.4%
自己資本比率	20%以上	17.3 %	18.3%	未達	18.2%
D/Eレシオ	1.0倍程度	1.1 倍	0.9倍	達成	0.9倍

中期重点施策の実施状況



自動車用アルミ板のリサイクル事業

- 既存の取り組み
- 新規の取り組み



蘇州神商金属(アルミコイルセンター)の設備投資
NEV向けアルミ加工能力増強



バイオマス発電所向けに
バイオマス燃料供給開始



北米2拠点(GBP、AWP)での
自動車向け特殊鋼2次加工能力増強



	日本	中国・東アジア	東南アジア	北米	欧州	インド・中東 アフリカ・その他
自動車分野 (各種輸送機を含む)	● 特殊鋼	● アルミ板材 ● 特殊鋼	● コネクタ(銅) ● 溶接材料	● 特殊鋼	● 非鉄加工	
プライマリー原料分野 (製鋼原料、地金)		● 神戸製鋼Gr 非鉄事業原料調達	● 合金鉄			
環境リサイクル分野	● アルミ屑		● バイオマス燃料	● 冷鉄源調達 ● バイオマス燃料		● 非鉄原料
建築分野	● 建設鋼材・ 建材製品		● 非鉄加工			
エレクトロニクス分野 (二次電池、半導体向け)	● 電池部材 ● ターゲット材	● アルミ精密加工	● アルミ厚板切断			
建設機材分野	● 溶接材料 ● 建機部品		● 機械メンテナンス			● 建機部品合併 ● 厚板溶断



当社子会社エスシーウエルによる
溶接関連資機材販売事業の事業譲受



神商精密器材(蘇州)の液晶パネル
製造装置向けアルミ加工能力増強



ベトナム・アルミ切断加工会社設立
KTNメタルベトナム
(写真は内観写真)



Track Design India 設立
建設機械向け部品製造の合併会社

中期経営計画 投融資の状況

● 投融資の状況

	21年度実績	22年度実績	23年度計画	3か年合計
投融資	20億円	30億円	88億円	138億円
DX&IT投資	3か年合計 38億円			
合計	176億円 (中期計画策定時 投資規模:200億円)			

● 23年度の主な設備投資・投融資計画

主な案件分野(セグメント・拠点)
✓ 国内流通再編(非鉄)
✓ リサイクル(非鉄)
✓ バイオマス(鉄鋼原料)
✓ 建設機械(機械・情報)
✓ 脱炭素(本社)
✓ 設備投資(米国特殊鋼2次加工拠点、他)

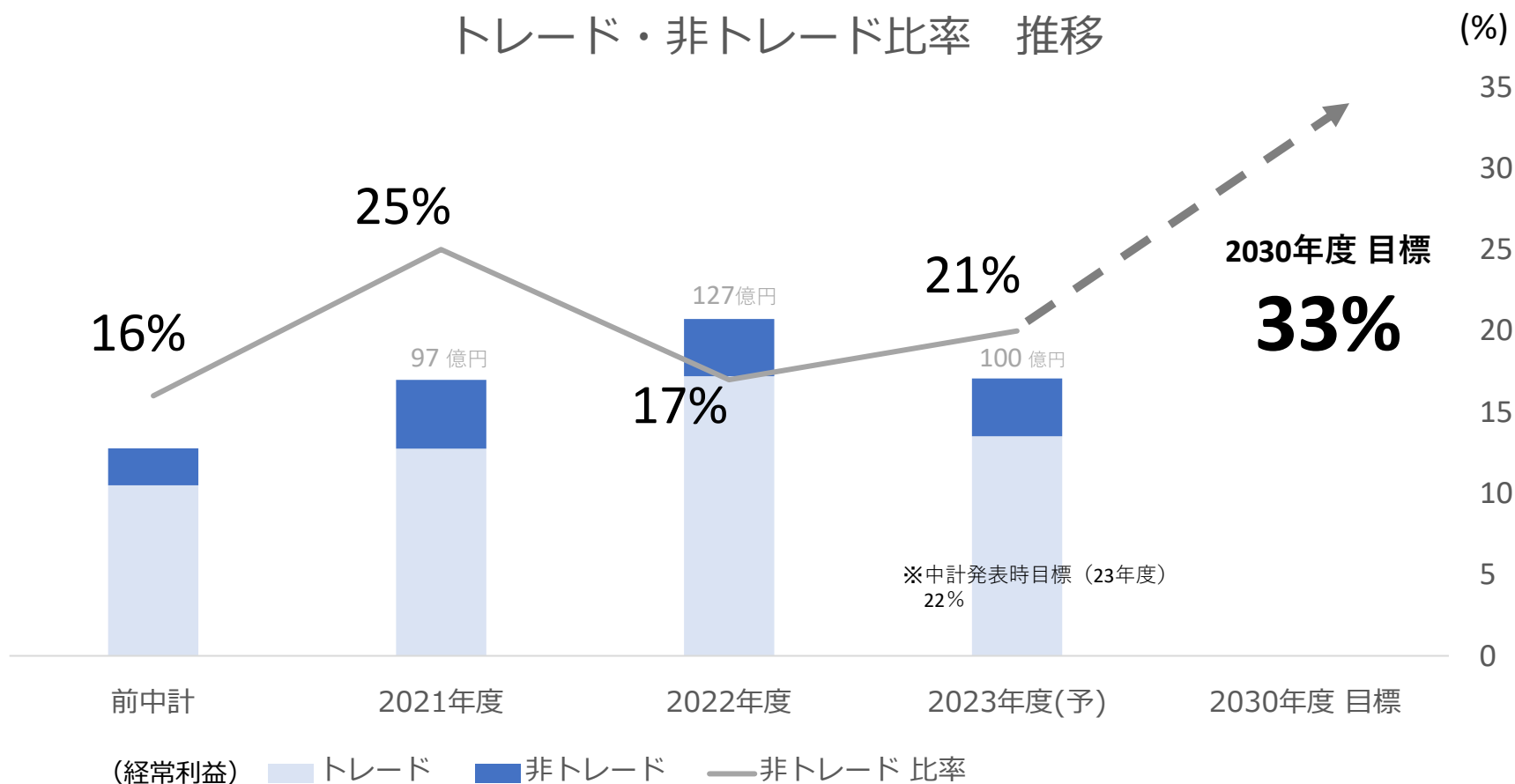
中期経営計画

トレード・非トレードビジネスの進捗

トレード・非トレードビジネス

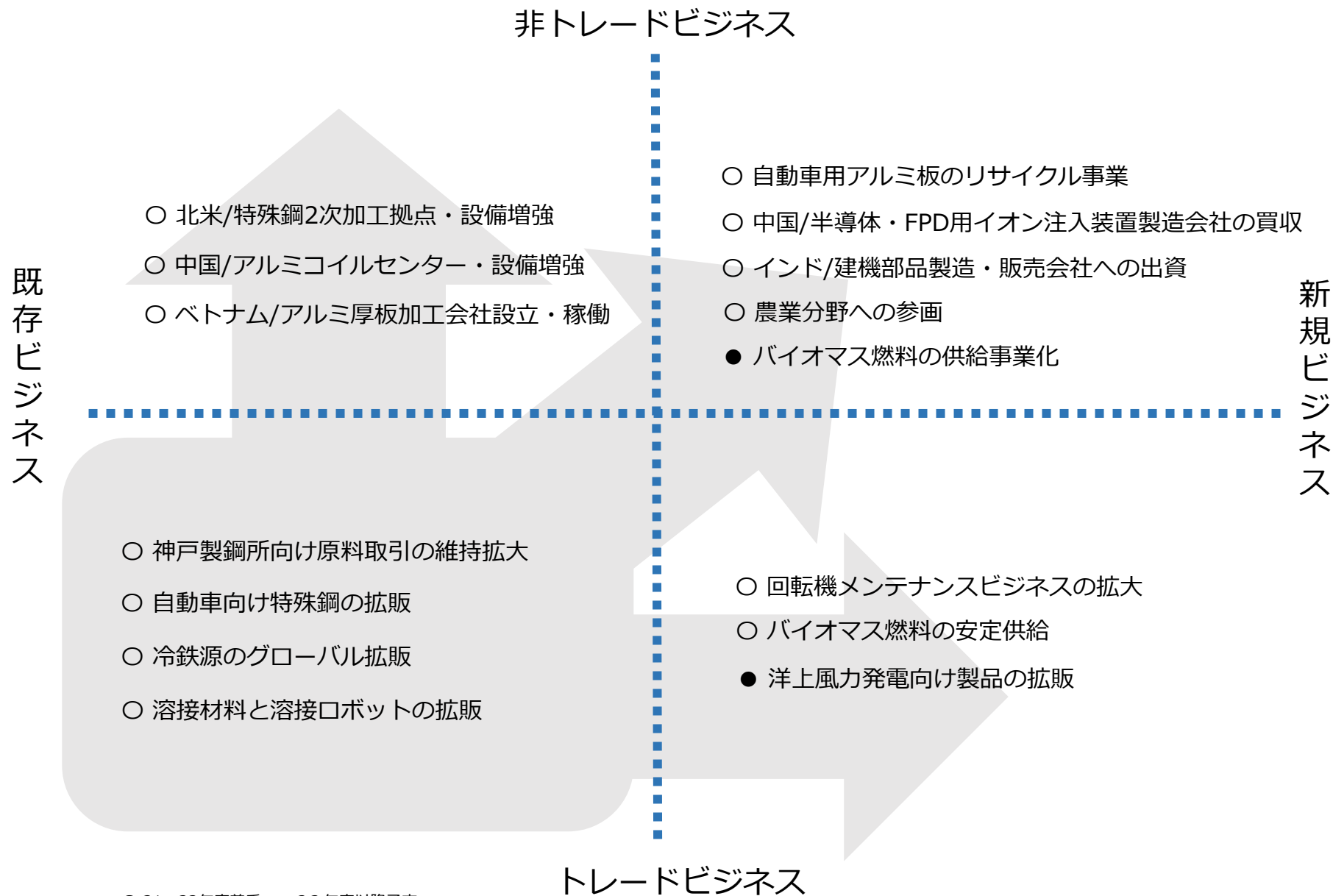
・当社は商品の売買・仲介を行うトレードビジネスが収益の大半を占めていましたが、今後はサステナブルな社会の実現に資するビジネス創出に力点を置き、投資先の企業価値向上に取り組んでいきます。非トレードビジネスの拡大に伴い新たなトレードビジネスの機会を獲得し、業容ならびに事業規模の拡大を図ります。

トレード・非トレード比率 推移



中期経営計画

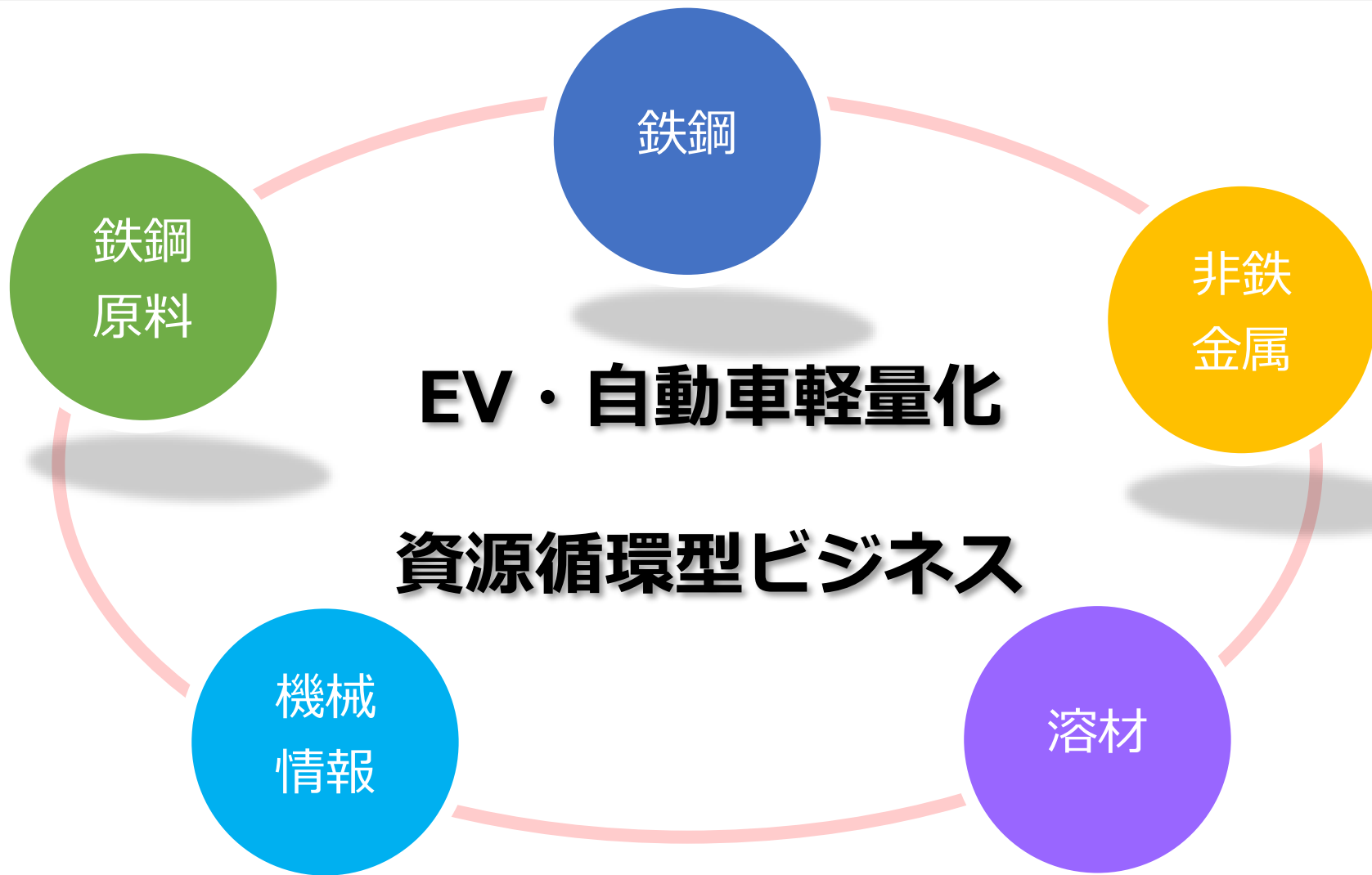
トレード・非トレードビジネスの進捗



1. 2022年度業績概要
2. 2023年度業績予想
3. 中期経営計画の進捗報告
- 4. Topics**
5. 参考資料

重点分野への取組み

中期経営計画にて重点分野を、「EV・自動車軽量化」と「資源循環型ビジネス」と定め、各セグメントにて様々な取組みを展開



鉄 鋼

純鉄系軟磁性材料
(自動車軽量化)

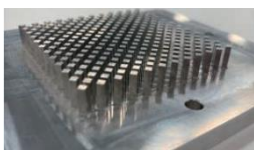
非鉄金属

自動車アルミ板材
(EV,自動車軽量化)



非鉄金属

**車載向けIGBT
ヒートシンク**
(EV向け)



鉄 鋼

アルミボルト
(自動車軽量化)



機械情報

**建機EV用
DCDC (降圧) コンバータ**



非鉄金属

EV用半導体リードフレーム



重点分野への取組事例

～資源循環型ビジネス～

鉄鋼原料

非鉄金属

素材（鉄、アルミ）のスクラップ



機械情報

インバーター
コンプレッサ



溶材

溶接材料スプール
リサイクル

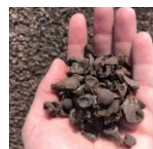


非鉄金属

自動車用アルミ
クローズドグループ

鉄鋼原料

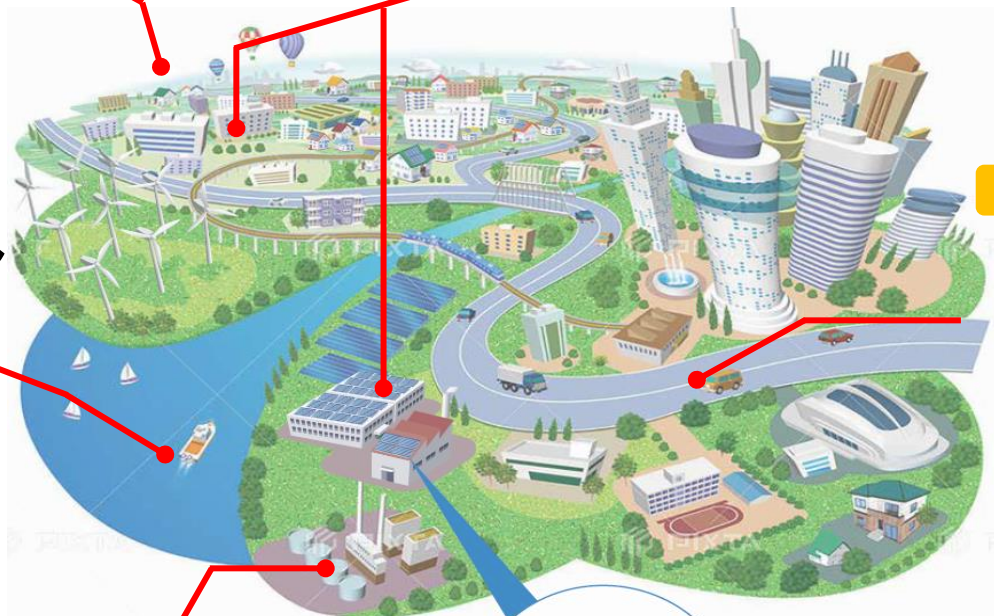
バイオマス燃料
（木質ペレット、PKS）



鉄鋼

KOBEMAG®

用途：太陽光パネル架台 他



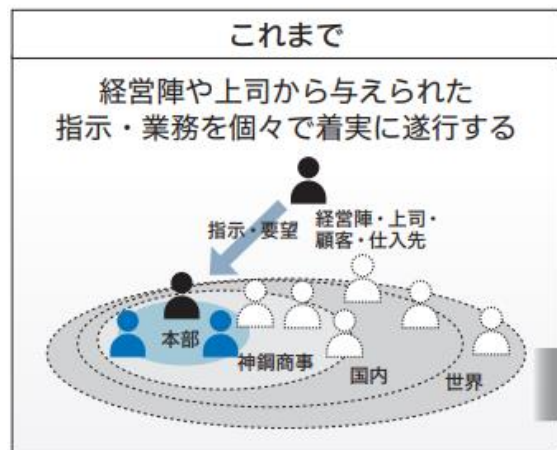
人材戦略

組織の目指す姿

- ・中期経営計画の事業戦略を推進し、長期ビジョンを実現するには経営基盤の強化が必須であり、人事制度改革を通じて当社が求める「自ら学び、行動する人」を育成し輩出していくことを目的に、経営陣や上司と社員と一緒に、提案や競争して新しい価値づくりに挑戦する組織に転換していきます。そのために新人事制度を制定すると同時に育成制度を改定し、学び続ける企業文化を醸成し、経営者・プロフェッショナルを育成していきます。

組織の目指す姿

これから



経営陣や上司へ自ら提案・共創し部門内外を巻き込んで新たな価値づくりに挑戦する

- 組織風土 : ありがたい姿の実現に近づいていることが賞賛される
業務の進め方 : 自らの好奇心やアイデアも織り交ぜた提案起点
周囲との繋がり : 多様な個人が自らの所属を超えて連携する

ポイント② 好奇心起点の挑戦

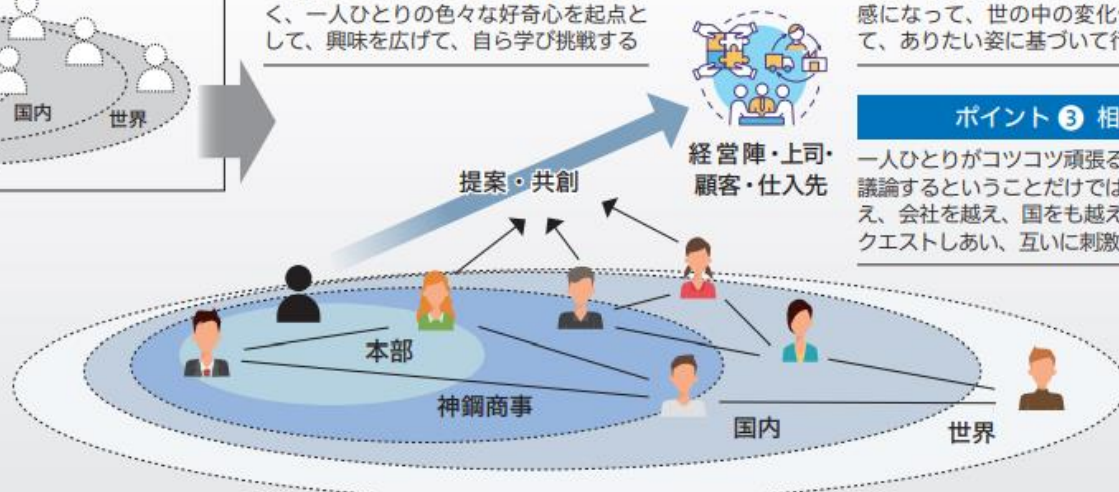
これまでのやり方にとらわれることなく、一人ひとりの色々な好奇心を起点として、興味を広げて、自ら学び挑戦する

ポイント① 未来からの逆算

自分や仲間と一緒に、顧客や社会の変化に敏感になって、世の中の変化やニーズをとらえて、ありがたい姿に基づいて行動する

ポイント③ 相互連携

一人ひとりがコツコツ頑張る、或いは本部内で議論するということだけではなく、本部を越え、会社を越え、国をも越えて、高い基準でリクエストしあい、互いに刺激を受けて成長する



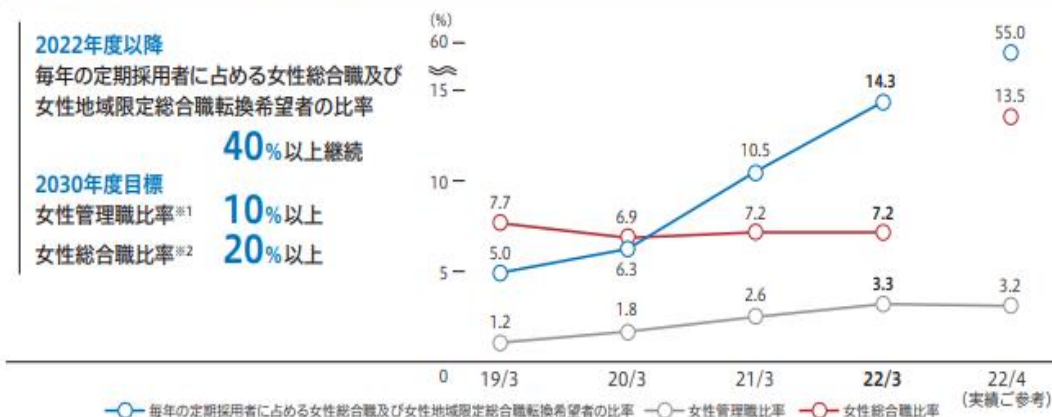
ダイバーシティ推進

ダイバーシティ推進活動

- ・当社は多様な価値観や考えを持つ人材の活躍により、新たな価値や競争力を創出することが重要と考え、様々な施策に取り組んでいます。
- ・22年10月に発足したダイバーシティ推進プロジェクトチームを中心に、従業員の個性や能力を存分に発揮できる風土醸成を推進しています。
- ・女性の活躍に関して、これまでは入社時の職群によって管理職の登用に制限がありましたが、22年度に改正した新人事制度により管理職へのキャリアを目指すコースや入社後に職群転換できる仕組みを導入しました。これに伴い女性総合職比率や女性管理職比率は上昇しました。

女性総合職/管理職比率の推移

女性総合職比率/女性管理職比率推移(単体)



※1 各年3月末日時点における全管理職社員に占める女性の比率

※2 各年3月末日時点における総合職と地域限定総合職の合計人数に占める女性の比率

ダイバーシティ推進PJチーム会議の様子



▶ 詳細は当社HPや統合報告書をご覧ください。

神鋼商事の人材育成、職場環境向上への取り組み

<https://www.shinsho.co.jp/csr/social/>

神鋼商事の統合報告書 (2022)

https://www.shinsho.co.jp/ir/library/pdf/igr_2022_view.pdf

社会的評価の取得

健康経営優良法人2023認定



経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。

健康経営宣言

当社は、従業員の健康維持・増進を重要な経営課題と捉え、個人の成長や働き甲斐を創出する中で多様性を尊重する企業文化を醸成し、企業の発展を目指します。

企業理念に掲げる「みんなの幸せ」を実現するため、会社と健康保険組合が協力し、健康増進に向けた取り組みを推進することを宣言します。

CDP評価にて「B」の評価を獲得



当社はこの度、環境情報開示システムを提供する国際環境非営利団体であるCDP※¹による「気候変動」に対する取り組みや情報開示の評価において、「B」評価を獲得致しました。

神鋼商事グループのカーボンニュートラルへの取り組み：

<https://www.shinsho.co.jp/csr/environment/tcf.html>

神鋼商事グループの気候変動に対するその他の取り組み：

https://www.shinsho.co.jp/csr/environment/env_approaches.html

<ご参考>

※ CDP(旧：カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト
2000年に英国で設立された国際非営利団体(NPO)。各国投資家等の支援のもと、世界の企業を対象として「気候変動」「ウォーター（水）」「フォレスト（森林）」3つのリスクと機会を調査・評価し、その結果を公表しているESG評価機関

1. 2022年度業績概要
2. 2023年度業績予想
3. 中期経営計画の進捗報告
4. Topics
5. 参考資料

神鋼商事株式会社

(2023年3月末時点)

業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所 プライム市場(8075)
住 所	【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	39社
従 業 員 数	連結：1,491名 (内、平均臨時雇用者数 87名) 単体： 517名 (内、平均臨時雇用者数 61名)
単 元 株 式 数	100株
事 業 内 容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入

会社沿革

1946年

大阪・北浜に**太平商事(株)**を設立
東京支社を設立



1966年

SHINSHO AMERICAN CORP.を設立



1950年

1960年

1960年

社名を**神鋼商事(株)**に変更

1970年

1980年

1988年

THAI ESCORP LTD.
を設立



1990年

2000年

2006年

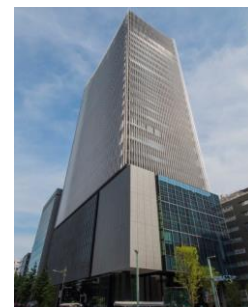
神鋼商貿(上海)有限公司
を設立



2010年

2019年

東京本社を移転



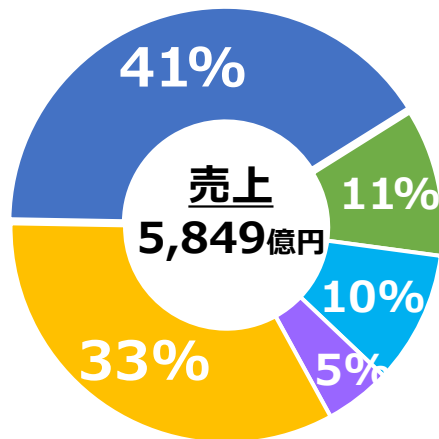
2020年

セグメント別事業概要

- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- 鉄鋼・非鉄金属で売上の約74%、経常利益の約62%を占める（2022年度）

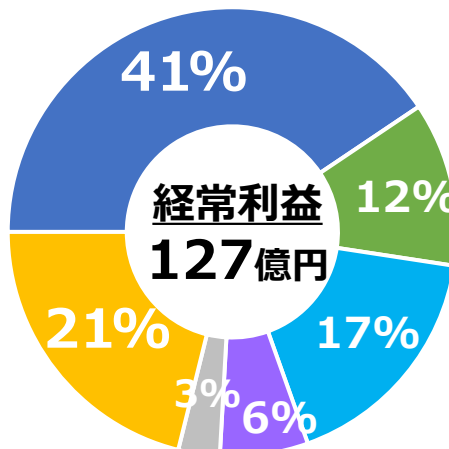
鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



溶材

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供

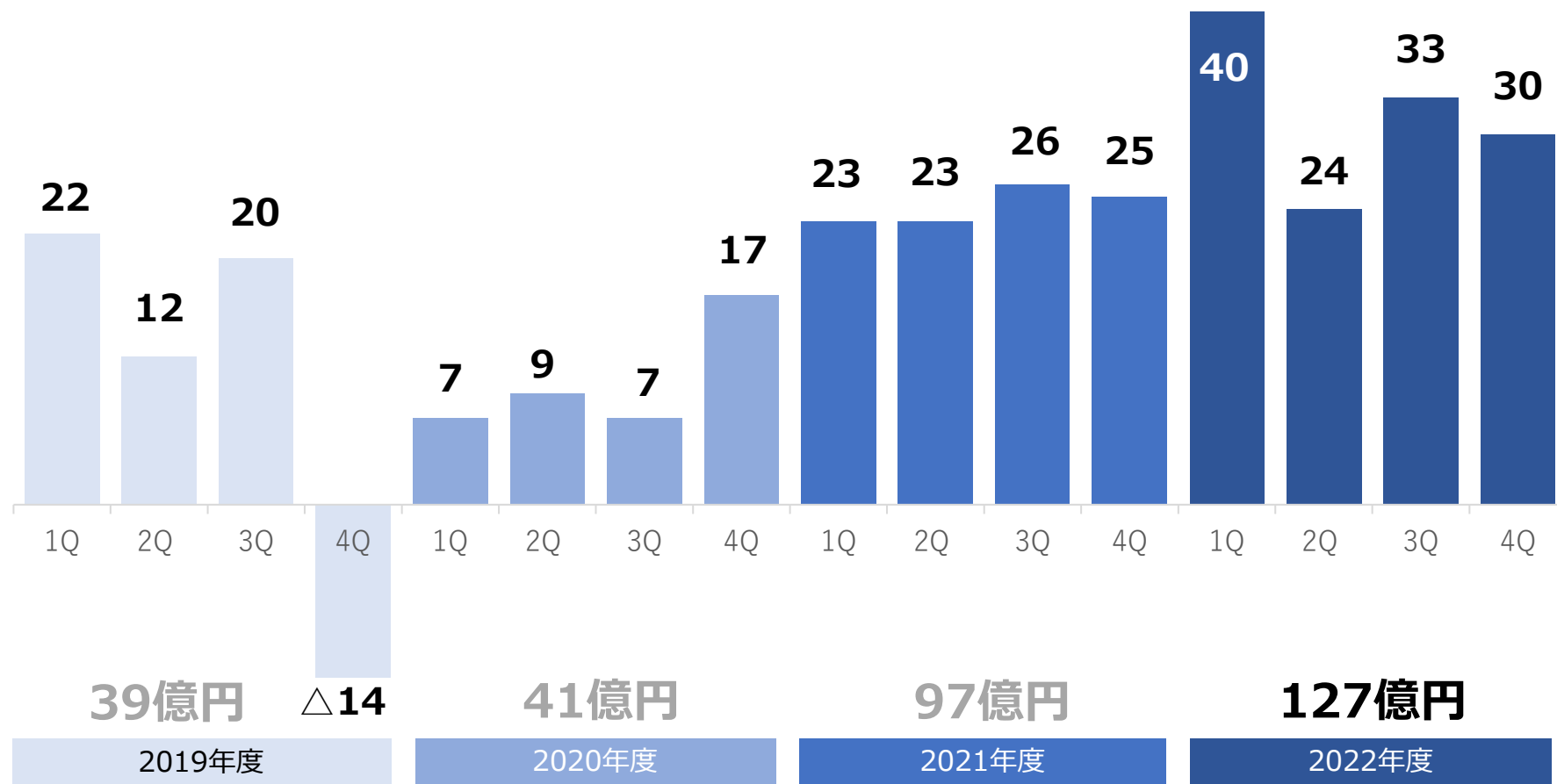


経常利益の推移（四半期ベース）

- コロナの影響や鉄鋼セグメントでの減損により赤字に陥った2019年度4Q以降概ね右肩上がり増加

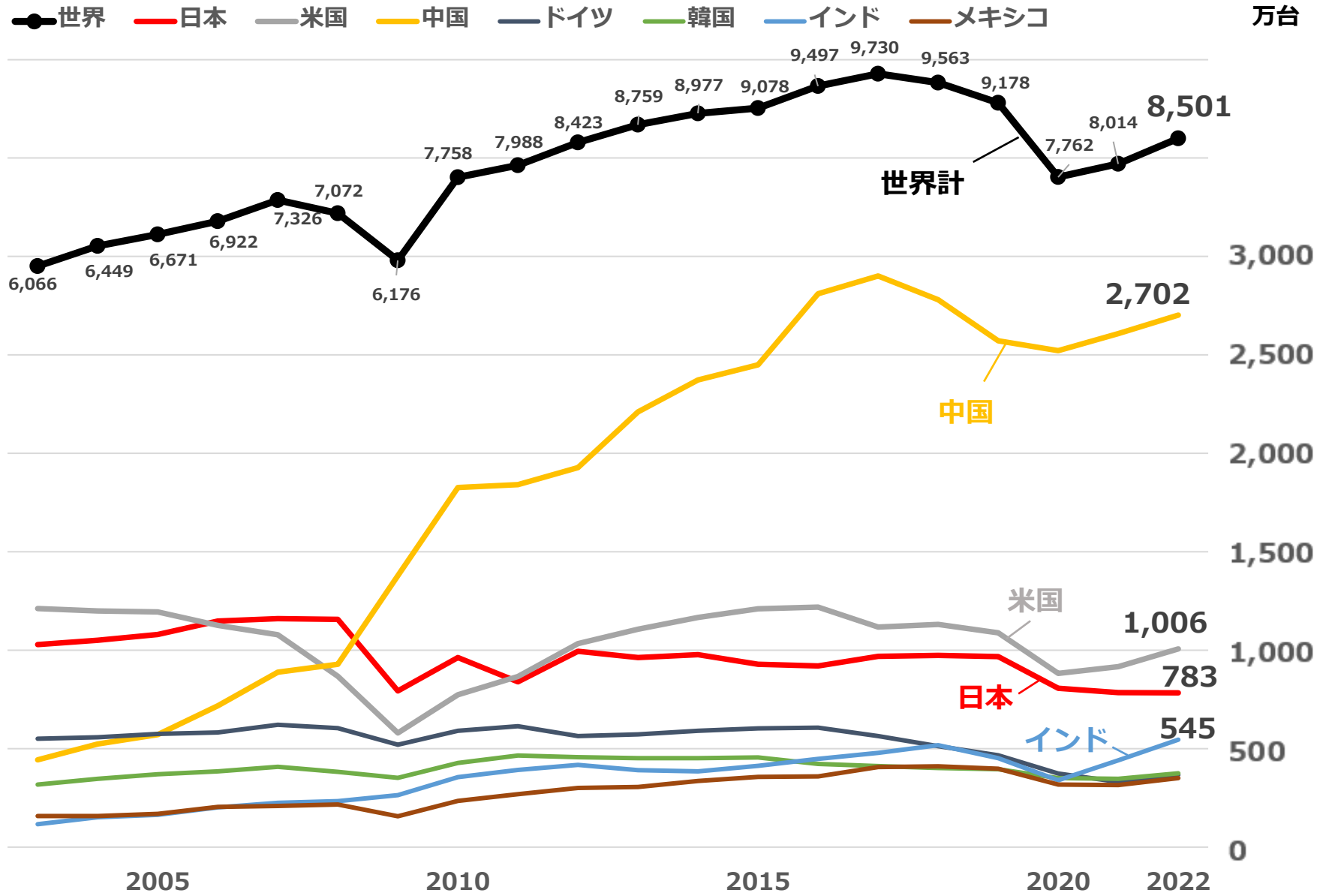
四半期別経常利益推移実績

(単位：億円)



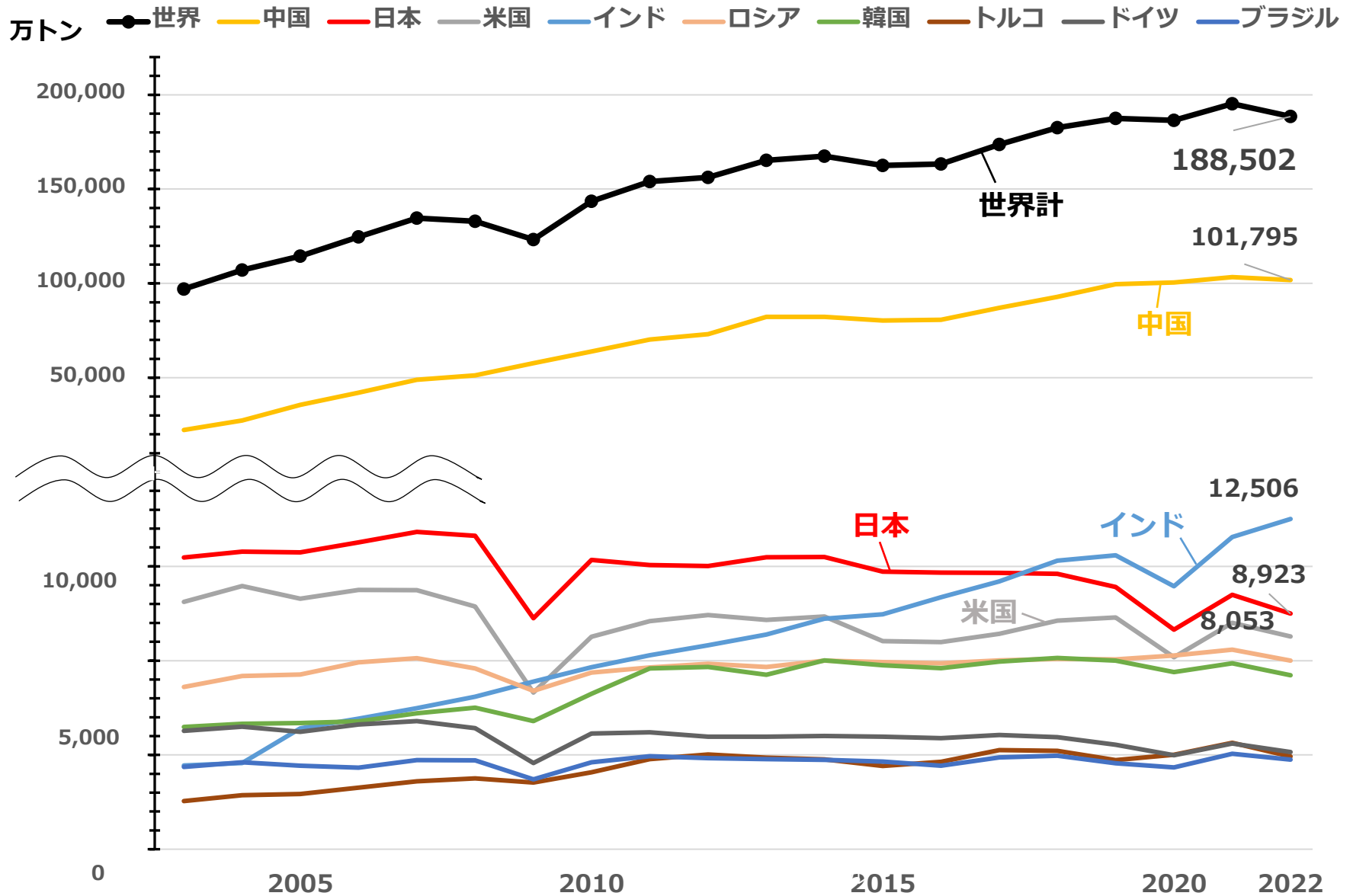
市況データ「自動車生産台数の推移」

(出典：OICA「Production Statistics」)



市況データ「粗鋼生産量の推移」

(出典：WSA「Statistical reports」)



企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。